

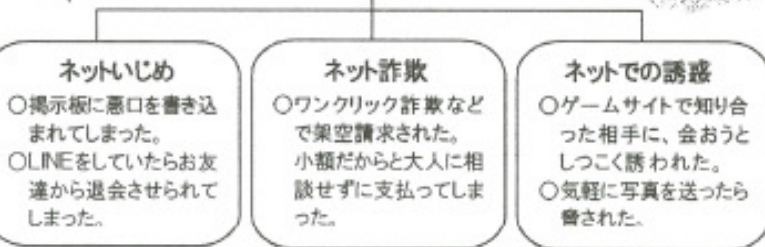
ネット・ケータイ 親子で考えよう!

～トラブルが起こるその前に～

近年、インターネットや携帯電話などの急速な普及に伴い、子どもがそれらを介して発信される有害情報にさらされるなど各種問題が深刻化しています。

平成24年度文部科学省の発表によると、奈良県では小学生の長時間ネット使用率(平日2時間以上ネットを利用する割合)が全国2位となっています。

そこで今回「青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム」[※]へ取材に行き、お話を伺ってきました。



発行人
増田 政章
伏見小学校PTA
奈良市審原町370
TEL (45) 4488
編集
伏見小学校PTA
広報委員会
印刷
共同精液印刷株式会社

伏見小学校情報部の笠井先生にお話を聞きました。

各学年の発達段階に合わせたパソコン教育が行われています。

○低学年は、パソコンに慣れる。

○中学年は、パソコンの基本的な操作方法を身につけて、情報収集の道具として使う。

○高学年は、パソコンで情報収集したり、伝えたいことを効果的に表現したり発信したりする。インターネットを利用する上でのマナーや配慮すべき事項を理解する。

○友だちと携帯電話などを貸し借りしない。置き忘れたりしない。個人情報流出につながるのので注意する。

○一度流出した情報を消すことは不可能である、という自覚を持つ。

○インターネットのゲームをする時は、むやみにクリックをしない。知らない間に課金されてしまったら、ウイルスに感染したりすることがある。

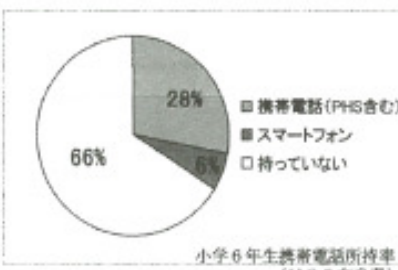
○パソコンや携帯電話などにはフィルタリングをする、パスワードをかける。

○パソコンや携帯電話などのインターネットの使い方について、家庭でのルールをきちんと作ることを、そしてそれを徹底することが重要だ。とお話してくださりました。



◆ 使わせる前に考えて

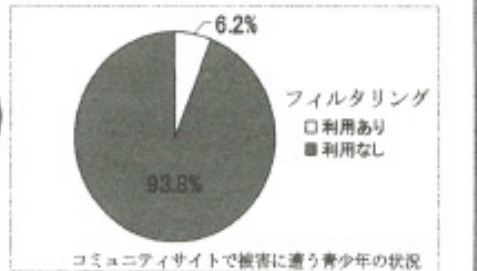
- 機能をしっかり把握する
- 利用目的をはっきりさせる
- ケータイは親が貸しているものだ認識する
- 小学生はネットのリスクについてよく分かっていないので、親が仕組みやリスク面を認識した上で、きちんと子どもに伝えることが大事!



◆ フィルタリングを利用して!

フィルタリングとは、子どもに閲覧させるのが好ましくないインターネット上の有害サイトを一定の基準で判断し、閲覧を制限することです。設定方法など、詳しくは各携帯電話会社にお問い合わせください。

- ウェブサイトは大きく三つに分類されます。
- ①一定の基準を満たした健全なサイト
例) 公共施設や公共機関のHP
 - ②健全・有害の判断がつかないすべてのサイト
例) 参加型ゲーム・音楽・ブログ・チャットなどのコミュニティサイト
 - ③明らかな有害サイト
例) 出会い系・アダルト・ギャンブル



使わせる? 使わせない?

◆ 親子で話し合おう!!

ネットとケータイは、一瞬で全世界に繋がる便利なものです。しかし、使い方を一歩間違えると犯罪に巻き込まれるおそれがあります。安全に使用できるように親子でしっかり話し合い、お互いが納得できるような具体的なルールを決めましょう。

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 不用意に危険なサイトにはアクセスしない | <input type="checkbox"/> トラブルがあったら親に言うようにする | <input type="checkbox"/> ルール違反をした場合の罰を決めておき、改善策についても話し合う |
| <input type="checkbox"/> 個人情報やむやみに書き込まない | <input type="checkbox"/> ネット上で知り合った人に会わない | |
| <input type="checkbox"/> 人の悪口は書き込まない | <input type="checkbox"/> 使用場所・利用時間を決める | |

現実でやってはいけないことは、ネットでもやってはいけません。ルールは、口約束ではなくメモなどに残して子どもに認識させ、継続して守らせるようにしましょう。

※青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアムとは…社会や大人が力を合わせてネット・ケータイに関する各種被害から「子どもを守る」団体です。県・県教育委員会・県警察・県PTA・高等学校PTA・青少年団体・事業者(各携帯電話会社・EMAなど)から構成されています。